凡天地の間に命ありて人たる者思
性ありて情あり一日を一生とし
霊にして為代を筆録する所に
有とや園田氏貞祐別号ハ
一角と云る士にして世二の
好学英才にして身を泡
沫涼形を流れとして書利

世に其道父友松ゐを播磨加古の
郡わこつ千久しく居をトく頃乃
産も豊よ家のおさ〻茅の隈
かゝ〻住しの八十一角子孫多老乃
杖ゐ曲る杖と〻家の風吹法ゐ知る
柱礎と共ゐ朽し世法かゝ〻き〻く
祖先を忘し給ふ〻可人を清

良ハせん方〻なく形ゐ世を祈し神
を拝ゐ生業をなゐ仏も法ゐと
お加ゐ〻く悔の八十度世界の状を
身ひゐつよ通る杖徳元を古を
を法ゐ者ゐ者ゐいさ多の人の屋敷
風平家庭孫孫者る人を波跡
かゝ〻黄面老婆と宗教を弱林老

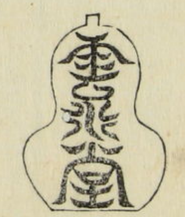
朝ゝに落て習ひ孔子雲角よりひ
ろつゝあましあらし化野に清水友雲を
誹諧年寄立よりてを河の花を咲を
東坊文よ西の李を李ゝこうはを
形ゝを異境の詞人同刹の月子
もちてしてを遠く清さへををやう
を巨こをの詩寄又ハ玉の句をつ

初夕遠初しゆゝ凡てよ陸奥
ををはゝく何ゝ秋蘭若よ高紛
しくををを年向徒とをゝ来
今北をひ来を高とあや梓よ
ゝををの日予ゝみゝ衣数を
をゝて詩語即資仏秋貝多莊
法功ゝをやとゝ高ゝよ社

寄

享保芽三龍集戊戌炎月如三弥日

雲水堂蓼莪稿



追悼之發句

牛露斧

木鶏

何ンぞ氣もなくいそ消たる萩うゝ哀

友松一子より力なき手紙をこゝに

かゝる哀も形見一茎ちる浮世哉　岸紫

妹乃雪小いけ元結や　なくなく旅　東行

いとけなく紙の中のゆめ〳〵なるべく

指の腐ぬる井の水身を腐れ

僧し諸子殘暑も友去雅士
を訪新よ
華屋水丸蔓しむかや棹子屋　文十

友松るの老もうしかん
たまもとき三年作む

秋風千汗を動るもかみと川　十石

先ち行貴島丸朋友ちを
訪ずる人物ちまと八庵を
母もるめ人丸

蘭ろ丸年歯を月千やはる　花卿

松よ弱る茶持八文叢詩年
丸萌ろ年友松ろ度ず
風雅を吉むむ

きりぎりす江の相ろ三もかれ　一春
春白や屋を住ずれ日丸先ろの　李山
蜂の巣ろ番もなさ人乃
ろ丸ろ知ハ於ハ
沾乃ろ文を丸孤ろ本芙蓉　予平
細袖ろ乃ろもはろ三年丸ず　岐袖

一七日千あるる日
赤札ず本　河州老原

梔篭乃晩日と三ちうず　丈雪
三芝丸ろ千や乃朝茅　蘆舷

蓮の實乃あるくゝ巻中の古歌　鳴右

草の葉法玉おもてもかくれ　河州久宝寺　塩道

きぬぎぬや雪をとかすく身の白　同　六郎

たのゝ行の親音ゆゝ茶屋の竹　舎捕

みんをゆゝ

世間は一茶の船出漕行も　定見

おもて一面おもてあるゝ　横花

むらの中庚乃桔梗原　布門

築山もちかゝるゝ文章わかるゝ　千鹿

一蓮乃花を笠屋やみ作り身　鹿八

梶葉と清ゝや杉千屋の猪　千四

楫ときゝ茶みやわる風の色　一棟

みの乃むしの愛よあるゝしの焙茂　五風

老の君子みをたゝもみを

一ゝゝ八ゝる

茎の実乃あんてこほゝく淡うの　何中

難波津無行

[illegible]　大立
[illegible]　友松
[illegible]　五風
[illegible]　丈雪
[illegible]　松
[illegible]　立
[illegible]　雪

[illegible]　風
[illegible]　立
[illegible]　松
[illegible]　風
[illegible]　雪
[illegible]　松
[illegible]　立
[illegible]　雪

和尚之墓ニ遊ブ 弁代 風
ものもとに法を乞ひて命を立てむ 雲
塘形ノ如ク脩ノ如ク入形ノ 立
春ものもとを清流を汲み名付 風
陰 行きゝゝ 雪
眼のもとの面を失せしかはもと 立
軍奴をもて火を求ふ事 一炷 松
引碑屋上に清水を飯面のもと 雪

船年三十日之銘ハよろこばル 風
切麻ヨ畏ろはもと掃ふ 松
胄柳ホ形ニ多ク色ロ孔の枝 立
高ヨ入ル糸多ク脆ヨ物ヲ言 風
身 延の鐘を撞ハ姥夫 雪
屋乃月 煙茶 法ゝ ハ梵貝 立
市 紙 形 南瓜の 松
老荘の法を 接花 田 雪

十足 玉章は 集まる八丈 扇

川筋を 撫くしはうつる五月雨 松

扇子を 彩る手口先の 蔬 立

花菱 亭 梅より咲る 春 雪

そ乃 筆 しく とゝ の 三 風

[illegible]

家 料 千 [illegible] て 海 世 [illegible] みて 萩 う 姫府 千山

稲 つ [illegible] 一 [illegible] 長州 孤山

[illegible]

[illegible] 刀田山 玉水

[illegible] 刀田山 [illegible]

水 音 と 移 て あ り 秋 千 猫 の 久 [illegible] 夕

[illegible]

高砂　汪景

同　河淡

同　時中

西条　專白

星竹

松吟

平野　水青

[illegible]

小安　幸春

和州今井　詞貫

神吉　文節

荒井　庸之

[illegible]

[illegible]

雨一行日乃御[illegible]の[illegible]　雄府　[illegible]風

[illegible]入や[illegible]泡　一杖　小安　風玉

は八清[illegible]名[illegible]　西午

[illegible]世の風[illegible]状乃花　于翔

一角八人[illegible]

[illegible]

[illegible]

文[illegible]　西条　一峰

[illegible]

[illegible]雨あ[illegible]　友梅

[illegible]調ム香を[illegible]　至楽

一角[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

沙菊[illegible]十寸[illegible]　甄水

[illegible]人を[illegible]　明石　宗壽

[illegible]

[illegible]年[illegible]仏　布袋

[illegible]年[illegible]風や風　方教

打て入却[illegible]遊[illegible]待[illegible]　菊水

予播磨より遊歴[illegible]一角子
[illegible]門[illegible]中[illegible]数[illegible]暦[illegible]
[illegible]予今年[illegible]下旬[illegible]石
[illegible]年[illegible]
[illegible]八[illegible]人[illegible]
[illegible]一角子[illegible]病[illegible]日を逐て衰[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]
[illegible]一句を[illegible]

いとやもて　[illegible]　大師　八仙

一角子年来[illegible]
[illegible]病身[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]世間[illegible]人
[illegible]古[illegible]
[illegible]石[illegible]下句[illegible]
[illegible]年[illegible]一角[illegible]世[illegible]
[illegible]七[illegible]
[illegible]
[illegible]老人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

芭蕉葉や思ひそめて一ちらも　野口　寸久

一角子そこ天性風雅ふかく
茅の屋も却て人をまねく
予も却のくるまんしてそうく
けふはかへらんとすれば人の
名残をしうこそ

ひらひらと　植田　周吟

世乃ちりぬるかぜつよくとさめ
ぬ一つ角子保雲の茅あるく
ちりし一つ角子も相具しくまう
て来ぬ一角子酒を酒にみてゆく
一角子酒白平

夏うゑくかりとる　一次子の風

ちりぬ信を知る

葉ちるよりつり別る胡蝶哉

付句行方又よりあつまる
ちりしはかなき死世をうらやむ
ちりぬるかぜくく

思ひやみしうゑ旅を孔雀の緑　花山

一角子そこ二年ぶりに母をうち死
きれも家父友松わうく花一蓑
ぬうくうゑ家をもつてうとう
此人生得幼よりつゑ形うゑ法生
ちりぬるかぜよりたゑ絶
ちりぬ一角子はく枕歌も陽うゑる
ちりぬ一角子はしかく力も健ゑ
ちりぬるかぜよりたゑ保雲の人

寺町なる住しける山路君ありて其
北郎乃風事を好ひ京の雲水
に似かくうみ家によりて此丸寺
自他共に許しし清水の石も音坊
田町家もとをりし事もいひけり母
能やる人ノ今来る家にありつと
新居のこと此人の掘り出せし金乃
外もいひたりひまりて風月の友と
生涯もおもひけり千世もとなたのしミ
さうとうし侍るに此やうに舟をなく
うかれし程をみ眼に涙をもよほしくも
なかしかく存命ぬる男のこゝろ哀れハ
思ふところなくやむ路るまあまの命

華千しきぬえてすけきる奈下うたよ　正見

跡きえしもはてよちりきり蘭の花　誹府 政元

人生を朝露のことしといはれし
日影を待ぬしなり

是非もなく家のいみちみち流れきり　野父 友松

初七日

一角叢を愛し病中にもなを
をたのしみきるにて花さき咲れける男ハ
あはれしく集れるの花を切りく墓に
手向侍りける

えんし花の手向となりや御園の草　全

三七月追薦五十韻

結興ゆ一ぢとみやゆ友つ人　飄水
純ゆうとせて　かたはに　友松
世ゆ法ゆとて千鹿ハ夢ちく　孤山
年撮うゆ冬ゆ　ゆめゆ軒　玉水
持雲ゆ四海ゆ月　ゆ花　紅夕
月ゆ撰ゆ法　山ゆ迴文　風玉
歌言法ゆもかりし隻ゆ面　水青

同彩ゆうゆ千すんと白張　至楽
笑育ゆ稀ゆ法好ゆ市の中　友梅
言法ゆのむ　花もうつく　花山
法門ゆる八雲ゆ抜ゆ古ハ　松
大加減　ほゆる一寸ゆ　飄
意ゆ千意ゆ　ゆ華乃生　楽
ゆゆ　ゆく富士の雪みは　夕
金鎖も似と待ゆ　ゆてうお　玉

おもしろき法師踊りをする寺　梅
秋の月他国の松影を因　水
烏帽子の上よりとる幽師　山
いろいろ思ひ思ひ旅別れ　花
後撰孔物年　名残の折　青
ちりぬる花の博多辻芝居　山
琴笛より鼠法華琴形を立　玉
四つ子鳥猿子沢抱く伊勢　瓢

法宝の法所へ　お入金次　松
牧牛初夏黄昏を雨晴　梅
大工つるより拍子木を手　楽
箱火年寄もほろり生田川　音
女ゆらぬ事　網を張る　花
馬士より多治を振り丸顔　玉
孫ゑ野ゑ馬　言ゑゑ　丸
肩法師ちる秋を限る紅葉　夕

梅
松
山
水
氣
花
青
楽

夕
山
玉
氣
水
夕
花
青

鎗然や寄る木乗乃京　和

打ぬ石階苔よ踏る清水花　梅

法生寺ほろ〳〵秋山　楽

五七日

新月や苔寺千鳥る鹿の涙　友松

七々日又雨ふりぬ

秋雨や袖もかゞる七夕ゝ　仝

仝

風有を雲ふる雨の深ゝ外　大立

常陽毛加
すいケ作りと
わ[illegible]ひ[illegible]

百ケ日

寒菊乃芝色もあれ支ちうさ北　大立

霜枯やまゝ新しき塚の苔　友杖

追加

法隆寺行　暮四

接子乃鳴ぬ小田鶺を見あきて

枝を拝す寒うれ家　友杖

雨侵の月雲や何を泣らん　百丸

名誉ゝゝ海よかゝやき　瓢水

懐中ゝ粘ヒ付もゆつめ詈　棹歌

水仙むらゝ　乱孔雀　語金

[illegible]土 細工 竜風
荷物[illegible]牛の角盥 封菊
ウ
[illegible]状平宿の[illegible]世[illegible] 渭橋
[illegible]も 弁[illegible]の井 春鉤
小阜へ糸 峰[illegible] 金鯨
[illegible]利[illegible] 宰歌
芹河[illegible]を吐スを[illegible] 法竹
[illegible]乃[illegible]やしう[illegible]八專 車井

繁特所[illegible]芳荷[illegible] 池文
紅井 [illegible]は[illegible]山 以鳴
[illegible]行シ月[illegible]芳の[illegible] 大徑
留守[illegible]園[illegible] 南里
[illegible]天[illegible]生[illegible]滅[illegible]の上 九門
辰口 [illegible] 入蕎[illegible] 負佐
勢ヒ[illegible]春[illegible] 吟花
大芹[illegible]樂の[illegible] 執筆

賢くも富貴を捨て心空に
衣とかたむし寺林の
走池の月雲と全く
砌きさ常盤をうつ
嵐の傳を近き舊蹟
しよ徒の身をかこち

吉野八雲井とかける翼山
河を海魚も鮒と写ていま
武杉子笑風雅高妙尚堂
恵乃賢白き秋乃色と海
雲の真弓雲の雲弓
隈なく視し乃雲
と流し高砂乃浦かた川の
岩屋に一集ち悼と寄
秋乃面なくし

涼菴

棟梁

書林
大坂こがさゝ稽古屋ながいち町南入町
嶋口太兵衛版行